

まえばしの昆虫類

～ 令和6年度前橋市自然環境調査(昆虫類)概要版 ～



前橋市

調査の目的

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。一方で私たちの経済活動の発展に伴い、生態系には様々な影響が及ぶようになりました。前橋の環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくために、何ができるか、一人ひとりが考え、行動する必要があります。

前橋市内の生きものの調査を継続して実施していくことで、情報を蓄積し、人間の目からだけではなく、これらの環境の中で実際に生活している『生きものの視点』から環境の変化を捉えることができます。

前橋市では、その取組の一つとして、前橋市内で見られる動植物（植物、鳥類、哺乳類・は虫類・両生類、魚類・水生生物、昆虫類）を一斉調査する「自然環境基礎調査」を平成9、10年度に行い、その後定期的に、調査対象ごとの追跡調査を続けています。令和6年度は「昆虫類」を対象に調査を行いました。

調査の概要

令和6年度に実施した昆虫類調査は、初夏から秋季にかけて、計3回実施しました。

調査方法は、任意採集法、トラップ法（ライトトラップ法（ボックス法）、ライトトラップ法（カーテン法）、ピットフォールトラップ法（ベイト式））を併用し、調査は専門家が実施、確認した昆虫類の名前や生活の様子を記録しました。

調査時期と調査期日

調査時期	現地調査期日
初夏	令和6年5月30日～6月2日
夏季	令和6年7月29日～8月1日
秋季	令和6年10月1日～10月4日

主な調査方法

任意採集法	トラップ法		ピットフォールトラップ法 ベイト式
	ライトトラップ法 ボックス法	ライトトラップ法 カーテン法	
調査地点内を歩きながら昆虫類を探し、捕虫網などで捕まえて記録します。見るだけで種分かるトンボ類、チョウ類などは捕まえないで記録することもあります。	夜間、樹林の中などに照明付きのワナを仕掛け、光に集まるガ類やコウチュウ類などを捕まえます。夏にはカブトムシやクワガタムシが捕れる事もあります。 集まった昆虫類はライトの下に設置してある捕虫器に入ります。	カーテン状に張った白色の布へ蛍光灯などの光を照らし、集まった昆虫類を捕まえます。	昆虫類の好むエサを入れたカップなどを地面と同じ高さになるように埋め、エサに誘われカップに落ちた昆虫類を捕まえるワナです。ゴミムシやアリの仲間がよく捕まります。
			

昆虫類調査の地点

これまでに調査した市内 27 地点のうち 9 地点を選び調査を行いました（数字が地点番号を示します。）。下の図からも分かるように前橋市は、市内北部に位置する赤城山から市内南部の平地にかけて 1,000m 以上の標高差があり、そのなかに、樹林、河川、池沼、耕作地（水田・畑）、市街地等の様々な環境をもっています。黒い実線で囲まれた地点が昆虫類（本年度）の調査地点です。下の図は調査地点の位置を示すとともに、主な昆虫類の生息環境から地点を区分してみたものです。

調査地点の位置図

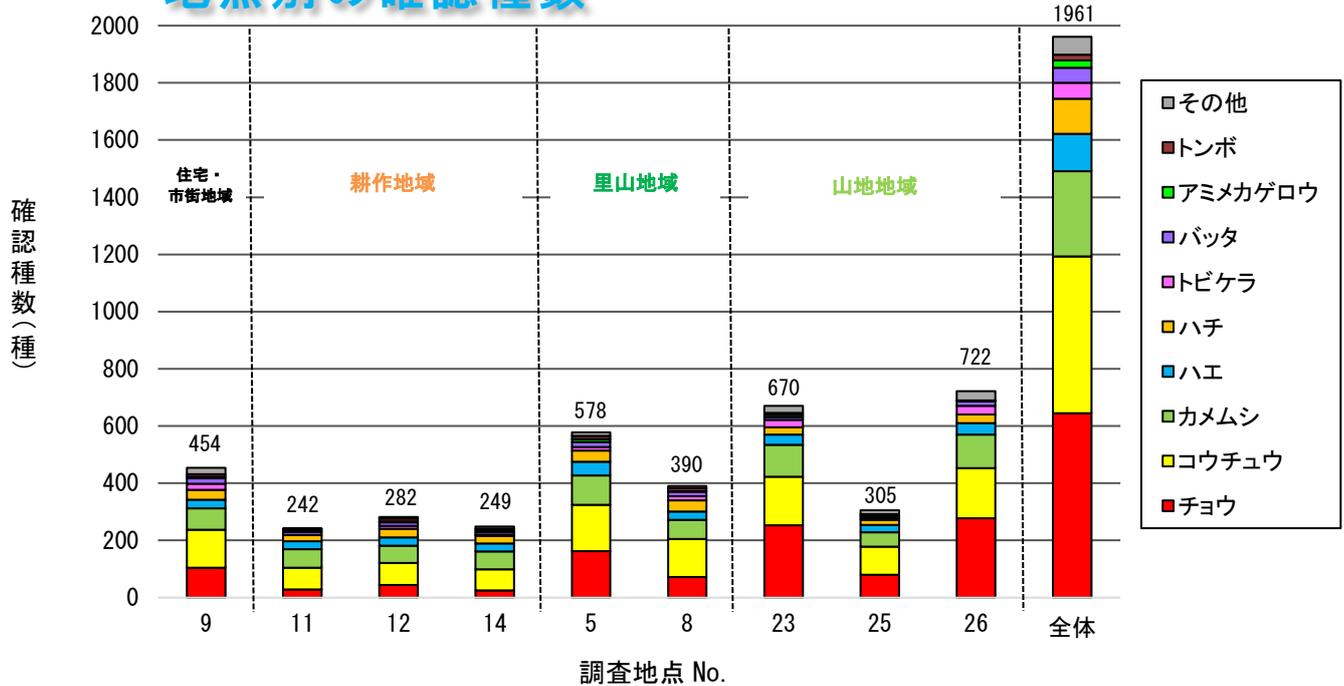
○：今回の調査地点（全 9 地点）



現地調査結果

調査の結果、全9地点で20目292科1,961種の昆虫類が確認されました。確認された昆虫類は市内北部、赤城山の標高1,000mほどの山地から、市内南部の標高100m以下の平地に至る地域の樹林、草地、河川、池沼、水田、畑といった様々な環境に生息する多様な種でした。また、確認種の数や構成、調査地点の環境を見る限り、過去の調査と比較しても大きな変化がない事も確かめられました。このことから、前橋市内の自然環境（昆虫類の生息環境）は、現在も良好な状態を保っていると考えられます。

地点別の確認種数



確認された種を見ると、「**山地地域**」ではムサシセモンササキリモドキ、エゾハルゼミ、ミヤマクワガタなど本州の山地樹林を代表する種が数多く確認されました。

「**里山地域**」ではギンヤンマ、ナナフシモドキ、アカスジキンカメムシ、セアカツノカメムシ、カブトムシ、ゴマダラチョウなど平地から丘陵地の樹林や草地、水路、耕作地といった環境を代表する種が幅広く確認されました。「**耕作地域**」ではナツアカネ、ハグロトンボ、ウズラカメムシ、セアカヒラタゴミムシ、ヤマトシジミなど耕作地やその周辺の草地を生息環境とする種が主に確認されました。「**住宅・市街地域**」ではヒゲジロハサミムシ、ツツジグンバイ、アゲハ、コガネムシなど市街化された地域でも一般的に見られる種が多く確認されました。



ミヤマクワガタ



アカスジキンカメムシ



ハグロトンボ



ヤマトシジミ

調査結果の概要

特徴的な生息種

特徴的な生息種

オジロサナエ
サトクダマキモドキ
シマサシガメ
ゴイシジミ
オオゴミムシ
オオクロコガネ
フジハムシ
スギナハバチ
ミドリセイボウ
クロスズメバチ
オオハラナガツチバチ

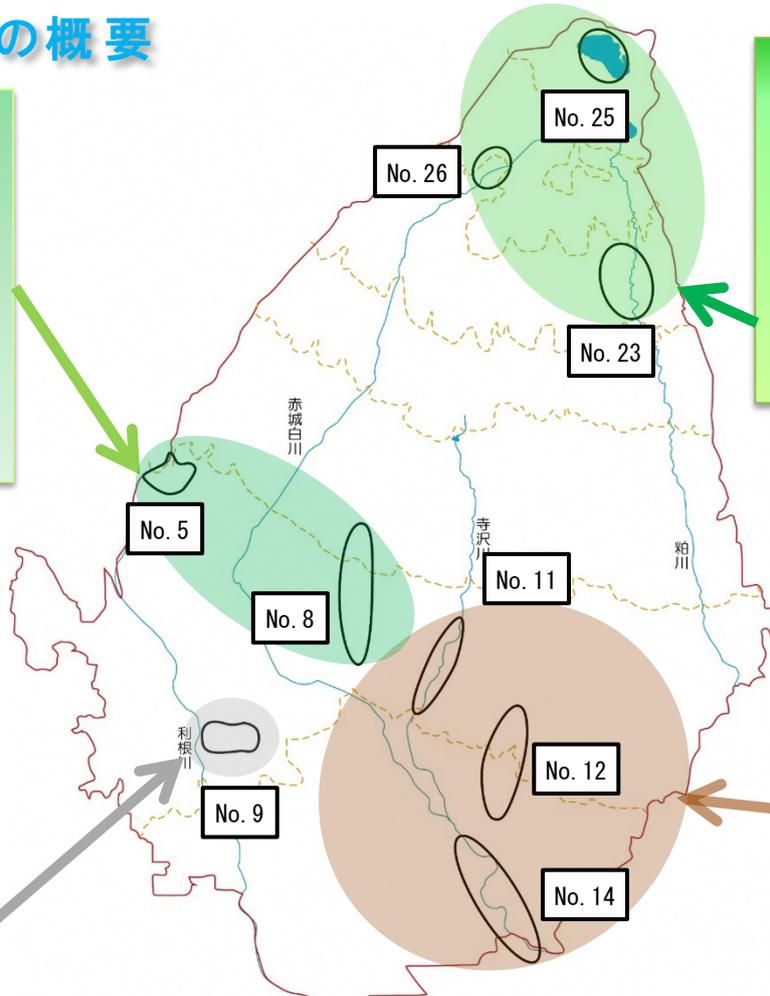
エゾハサミムシ
エゾツユムシ
ミカドフキバッタ
オオマダラカスミカメ
ヨツボシカメムシ
ヘビトンボ
ヤマキマダラヒカゲ
オオモモフトシデムシ
ミヤマクワガタ
カバノキハムシ

特徴的な生息種

ケラ
マルアワフキ
ヤニサシガメ
ブチヒメヘリカメムシ
ジャコウアゲハ
エビガラスズメ
ノグチアオゴミムシ
セマルケンガムシ
オオコフキコガネ
カメノコテントウ
キボシトックリバチ
ヤマトルリジガバチ

特徴的な生息種

オオアオイトトンボ
ウスグモスズ
アオバハゴロモ
アカサシガメ
ウシカメムシ
シロシタケンモン
ウシアブ
ダイコンサルハムシ
カブラハバチ
シベリアカタアリ
アカスジツチバチ



- : 山地地域
- : 里山地域
- : 耕作地域
- : 住宅・市街地域

○市内に広く分布する(7地点以上で確認された)種
シオカラトンボ、ウスバキトンボ、アキアカネ、ハラヒシバッタ、ゴマフウンカ、マダラヨコバイ、ウスモンミドリカスミカメ、ハネナガマキバサシガメ、ヒメナガカメムシ、ヒゲナガカメムシ、エサキモンキツノカメムシ、チャバナアオカメムシ、ウルマーシマトビケラ、ヤマトシジミ本土亜種、コムスジ本州以南亜種、キタキチョウ、モンシロチョウ、マエアカスカシノメイガ、ホソヒラタアブ、ツマグロキンバエ、サビキコリ、ナナホシテントウ、ナミテントウ、キイロテントウ、ヒメカメノコテントウ、クロウリハムシ、メリケントビハムシ、キアシクビボソハムシ、ナトビハムシ、クロヤマアリ、トビロケアリ、アメイロアリ、アミメアリ(33種)

こうやって探っています！

皆さんは昆虫採集をしますか？私たちは普段、本書の1ページに書いたような方法で昆虫を採集していますが、これらの方法は基本の虫の採り方で、ほかにも色々な方法があります。

例えば、1ページで紹介している任意採集法ですが、この中には、スウィーピング法（植物などを網ですくって、網の中に虫を落とす方法）やピーティング法（植物などを棒でたたいて網の中に虫を落とす方法）などが含まれています。スウィーピング法はハチやハエ、ガなどの飛び能力が高い虫に有効で、ピーティング法はコウチュウなどの植物にしがみついて、なかなか落ちてこない虫に有効です。そのほかにも、パントラップ法（色が付いたトレイなどに水を張って水に落ちた虫を採る方法、花に集まる虫などに有効）など、ここでは紹介しきれませんが、いろいろな方法で虫を採集しています。皆さんも機会があったら是非試してみてください！

スウィーピング法→



←ピーティング法



パントラップ法→



重要種の確認状況

「重要種」とは、国（環境省）や群馬県が選んだ「絶滅のおそれのある動植物」のことです。本年度の調査では、18種の重要種が確認されました。これらの種の多くは、もともと少ない種ではありませんでしたが、人為的な改変（河川改修や宅地造成などに伴う樹林の伐採など）や管理放棄（水田等の放棄）による生息環境の消失、変化により大幅に個体数が減少してしまいました。前橋市内の生物の豊かさを守っていくためには、これらの種が生息できる環境を残していかなければなりません。その目安として重要種の今を引き続き注意深く観察することは大変重要です。

重要種の確認状況

No.	科名	種名	調査地点								調査時期			選定基準					
			No.5	No.8	No.9	No.11	No.12	No.14	No.23	No.25	No.26	初夏季	夏季	秋季	①	②	③	④	
1	コロギス	ハネナシコロギス								○			●		●				DD
2	マツムシ	スズムシ		○	○										●				DD
3	コオロギ	クマスズムシ						○						●	●				DD
4	バッタ	ショウリョウバッタモドキ			○									●					NT
5	イナゴ	ハネナガイナゴ										○			●				DD
6	ヒシバッタ	アカギヒシバッタ									○	○	●						DD
7	ナナフシ	ヤスマツビナナフシ										○		●					DD
8	キジラミ	エノキカイガラキジラミ	○	○	○	○	○						●	●				NT	
9	カスミカメムシ	リンゴクロカスミカメ										○	●					NT	
10	エグリトビケラ	エグリトビケラ										○	●						VU
11	トビケラ	ムラサキトビケラ								○		○		●					VU
12	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種			○								●						NT
13	ガガンボ	ミカドガガンボ				○								●					DD
14	ニセヒメガガンボ	エサキニセヒメガガンボ								○					●				DD
15	ガムシ	コガムシ		○	○								●	●	●			DD	DD
16	コガネムシ	オオコフキコガネ			○									●					NT
17	スズメバチ	モンズメバチ			○						○		●	●				DD	DD
18	コハナバチ	アオスジハナバチ							○					●					DD
合計	18目	18科	1種	3種	7種	2種	2種	1種	3種	2種	6種	7種	10種	7種	0種	0種	5種	15種	

注) 重要種選定基準

①文化財保護法（昭和25年、法律第214号）及び都道府県及び市町村の文化財保護条例において天然記念物に指定されている種
特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物

②絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年、法律第75号）において希少野生動植物種に指定されている種

③「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足



アカギヒシバッタ



エグリトビケラ



ミカドガガンボ



オオコフキコガネ



モンズメバチ

外来種の確認状況

「外来種」とは、もともと国内に生息していなかった種のこと、そのなかでも生態系や人間の生活に大きな影響を与える種については特定外来生物として「外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）」により国が選り注意するよう呼びかけています。

本年度の調査では、29種の外来種が確認され、そのなかには特定外来生物に指定されているアカボシゴマダラとクビアカツヤカミキリが含まれていました。特定外来生物は在来の生物に与える影響が大きいとされており、生きた個体を人為的に移動させることが禁止されています。アカボシゴマダラは人間の生活にはあまり影響がありませんが、クビアカツヤカミキリはサクランなどのバラ科の樹木に侵入し、被害が大きくなると枯死させてしまうこともあるため、あまりたくさん増えてしまうと春の風物詩であるお花見にも影響が出るかもしれません。

そのほかに一般的に知られた外来種として、本年度はこれまでに前橋市では確認されていなかった、チュウゴクアミガサハゴロモ、クスベニヒラタカスミカメ、ツマベニヒメナガカメムシ、ムネアカオオクロテントウ、メリケントビハムシなどの11種が新たに確認されました。これらの種は今のところ在来の生物に大きな影響を与えることはないとされていますが、近年、関東地方周辺で分布を拡げており、今後の動向に注意が必要です。

外来種の確認状況

No.	科名	種名	調査地点								調査時期			選定基準				
			No.5	No.8	No.9	No.11	No.12	No.14	No.23	No.25	No.26	初夏	夏季	秋季	①	②	③	④
1	マツムシ	アオマツムシ	○		○	○			○				●	●			◎	
2	ハゴロモ	チュウゴクアミガサハゴロモ			○			○										◎
3	ヨコバイ	キウイヒメヨコバイ	○	○								●	●	●			◎	
4	サンガメ	ヨコツナサンガメ							○			●					◎	
5	グンバイムシ	アワダチソウグンバイ	○	○	○	○	○	○	○			●	●	●			◎	
6	カスミカメムシ	クスベニヒラタカスミカメ							○					●				◎
7	ナガカメムシ	ツマベニヒメナガカメムシ			○			○				●	●					◎
8	マダラガ	タケノホソクロバ	○			○								●				◎
9	タテハチョウ	アカボシゴマダラ				○							●			◎	重点	◎
10	ツトガ	シバツトガ		○	○			○				○	●	●	●			◎
11	ヤガ	オオタバコガ			○					○					●			◎
12	ミスアブ	アメリカミスアブ	○	○				○						●	●			◎
13	オサムシ	コルリアトキリゴミムシ	○	○	○							●		●	●			◎
14	シバンムシ	ケブカシバンムシ		○								●						◎
15	テントウムシ	モンクチビルテントウ	○	○		○			○			●	●	●				◎
16		ムネハラアカクロテントウ			○								●					◎
17		ムネアカオオクロテントウ			○				○			●		●				◎
18	ネスイムシ	トビイロデオネスイ			○			○							●			◎
19	ケシキスイ	クイロデオキスイ			○										●			◎
20	ホソヒラタムシ	フタゲホソヒラタムシ								○			●					◎
21	カミキリムシ	クビアカツヤカミキリ											●			◎	総合	◎
22	ハムシ	メリケントビハムシ	○	○	○	○			○		○		●	●				◎
23		ブタクサハムシ	○	○				○	○				●	●	●			◎
24	ゾウムシ	アルファルファタコゾウムシ	○	○				○				●		●	●			◎
25		ケチビコフキゾウムシ		○									●	●				◎
26	イネゾウムシ	イネミスゾウムシ		○						○			●					◎
27	ハバチ	ハリエンジュハバチ			○				○			●	●					◎
28	アナバチ	アメリカジガバチ		○	○	○	○					●	●	●				◎
29	ミツバチ	セイヨウミツバチ	○			○			○			●	●	●				◎
合計	25目	29科	11種	14種	14種	8種	8種	13種	2種	1種	4種	13種	18種	20種	2種	2種	20種	9種

注) 外来種選定基準

- ① 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月、法律第78号）
- ② 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（平成27年、環境省）
重点：重点対策外来種、総合：総合対策外来種
- ③ 「特定外来生物等分類群専門家グループ会合（昆虫類）議事次第資料3-1 我が国に定着している外来生物（昆虫類）のリスト（暫定版）」（平成16年、環境省）
- ④ ③の発刊以降に日本に侵入が確認された外来種。または、③には記載されていないが、明らかに外来種であると広く認知されている種。



クスベニヒラタカスミカメ



チュウゴクアミガサハゴロモ



ツマベニヒメナガカメムシ



ムネアカオオクロテントウ



メリケントビハムシ

前橋市のトンボ類

前橋市は標高 1,500m ほどの赤城山の山頂付近から 100m 以下の平地まで、非常に高低差があります。また、そのなかには落葉広葉樹林、針葉樹林、針葉樹・広葉樹の混交林などの樹林やそれに続く林縁、高茎・低茎の草地、水田・畑などの耕作地といった様々な昆虫類の生息環境が見られます。そして、多くの場所に池、沼、ため池、大小様々な河川が見られるためトンボ類の種数も豊富で、山地性の種から市街地周辺でも一般的に見られる種まで非常に多様です。そんな前橋市内で見られるトンボ類の一部をここで紹介します。これまでの自然環境基礎調査及び追跡調査では 37 種のトンボ類が確認されています。そのなかから、トンボの生息環境ごとの代表的な種を示しました。

前橋市内における生息環境ごとの代表的なトンボ類

山地の河川 中・上流部	山地の池沼	平地から丘陵地の 河川中・下流部	平地から丘陵地の 池沼・水田など
ミヤマカワトンボ	オオルリボシヤンマ	ハグロトンボ	オオアオイトトンボ
ダビドサナエ	ルリボシヤンマ	ニホンカワトンボ	アオモンイトトンボ
ヒメクロサナエ	コヤマトンボ	ヤマサナエ	ギンヤンマ
	タカネトンボ	オナガサナエ	オオヤマトンボ
		コオニヤンマ	シオカラトンボ
		オニヤンマ	チョウトンボ
		ミヤマアカネ	アキアカネ

ガではあいません。チョウなんです。

皆さんはセセリチョウの仲間をご存じでしょうか？

日本にいるセセリチョウの仲間の多くは体も翅も茶色で、小さく、一見チョウには見えませんが、立派なチョウの仲間です。その多くの種はイネ科やカヤツリグサ科の植物を食草としています。セセリチョウの仲間のイチモンジセセリやチャバネセセリは河川敷や農耕地の周辺、市街地の植え込みなどでも見られる身近なチョウです。また、平地から丘陵地の林縁などではダイミョウセセリなどを見ることができます。このチョウの名前の「ダイミョウ」は前翅の白い紋が「大名」の着ていた紋付きの羽織袴の模様由来だとされています。このことから、セセリチョウの仲間が古くから日本で親しまれてきたチョウであることがうかがえます。



イチモンジセセリ



チャバネセセリ



ダイミョウセセリ

前橋市環境部環境政策課

〒371-8601 前橋市大手町二丁目 12 番 1 号

電話：027-898-6292

表紙の写真：左上から県立赤城ふれあいの森の落葉広葉樹林、ハラビロトンボ、カブトムシ、ライトトラップ法（カーテン法）、オナガサナエ、ゴイシジミ、藤沢川

